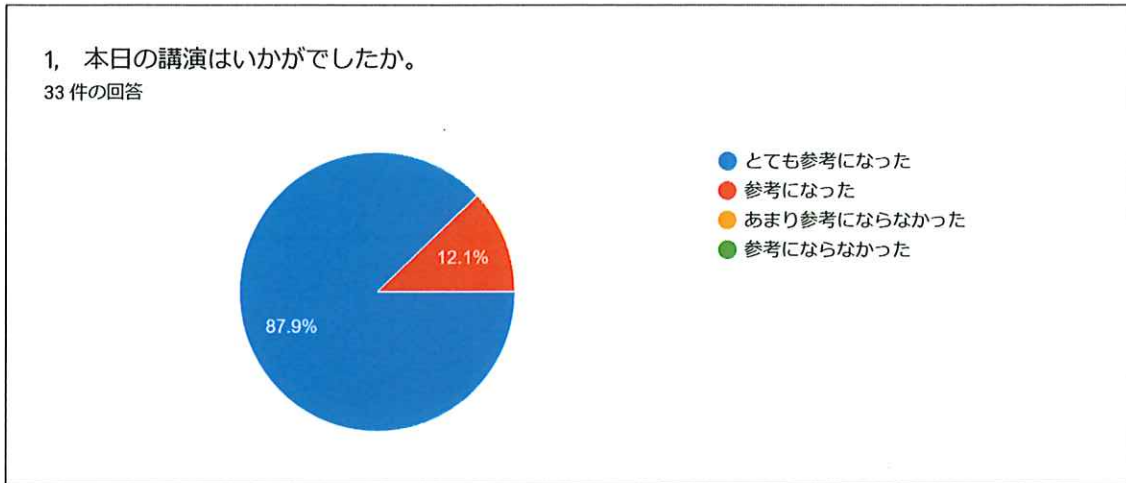
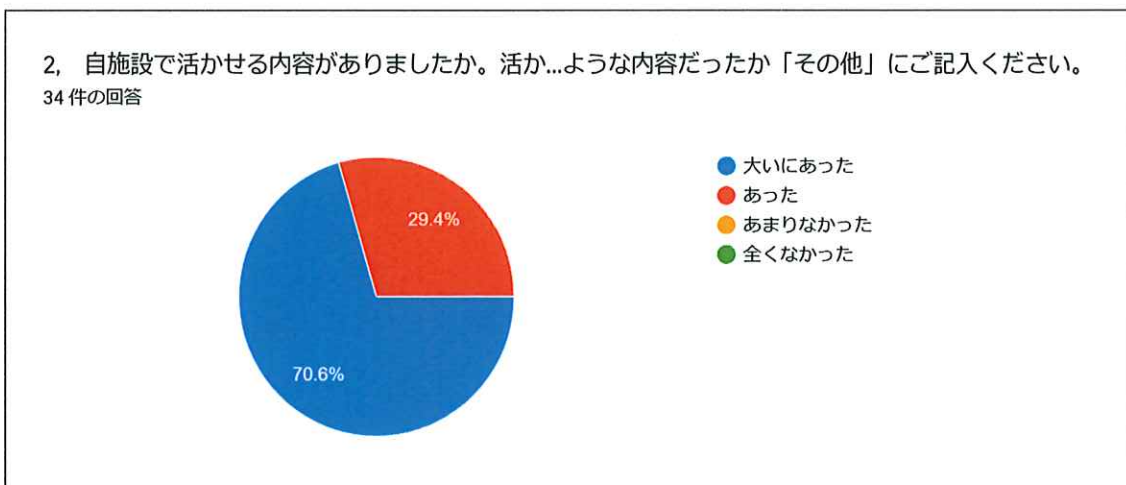


3/11 栄養部会オンライン研修 アンケート結果

1, 本日の講演はいかがでしたか。



2, 自施設で活かせる内容がありましたか。



3, 講演の感想、質問等がございましたらご記入ください。

- ・フィジカルアセスメントの具体的なやり方を、映像付きで分かりやすく解説していただき大変参考になりました。自施設でも実践していきたいと思います。
- ・聴診器、恐れず使ってみたいと思いました。
- ・できるところから始めたいと思いました。
- ・谷口先生には、あらゆる勉強会・研修会でお世話になっております。本日も、本当にありがとうございました。フィジカルアセスメントに関して、最初にお講義いただいた時は、勉強しはじめたところで、理解しきれず、職場で活かしきれませんでしたでしたが、今なら

3/11 栄養部会オンライン研修 アンケート結果

本当に大事なことがわかります。また、定期的に学ばせていただきたいと思います。栄養部会役員の皆さまもありがとうございました。

- ・すぐに実践できる内容で、とても参考になりました。また聞きたいです。
- ・フィジカルアセスメント積極的にやっていきたいと思いました。
- ・頸部聴診の方法や触診等、初めて知ることが多かった。フィジカルアセスメントをもっと学ぼうと思った。
- ・とても参考になりました。普段から行えるようになりたいと思う内容でした。ありがとうございました。
- ・何度聞いても分かりやすいです
- ・私たちにもすぐ使えるフィジカルアセスメントでした。
- ・浮腫の方の脱水の見分け方（すぐにわかる）や、経口補水液での対処は可能なのか知りたいです。
- ・管理栄養士が聴診器をもって仕事をする機会はないかと思ってましたが、使い方や使用場面を教えていただき大変勉強になりました。フィジカルアセスメントを全然行えていないため、少しずつ取り入れていこうと思います。
- ・実際の呼吸音が聞けたり、フィジカルアセスメントの方法を見れたり、分かりやすかったです。今後の参考にしていきます。
- ・とてもわかりやすくフィジカルアセスメントを教えていただきありがとうございました。なかなか敷居が高いなと今まで感じることもありましたが、まずはできそうなところから実践し自分のアセスメントに加えご利用者様の支援に繋がればと思いました。バイタルサインを栄養ケアのアウトカムとするというのが目から鱗でした。今後参考にしたいと思います。
- ・バイタルサインを意識して見ていきたい。少しずつでもやってみたいです。ありがとうございました。
- ・医師から栄養士へ向けて公演頂く機会は少ないので大変貴重な機会でした。経管栄養の方の体重が必要栄養量未満でも増加傾向にある場合の対処方法に悩みます。

4、部会からのアンケートにご協力をお願いいたします。部会運営にご意見があれば

ご記入ください。

- ・多忙な谷口先生をキャッチできたのも、今日のお講義内容も、リモートだったからこそ強みだと思います。本当にありがとうございました。
- ・お忙しい中、いつも素晴らしい研修会を開催して下さい、ありがとうございます。研修会とても楽しみにしています。2名体制となりましたが、同時に出席できないため、本日

3/11 栄養部会オンライン研修 アンケート結果

の研修会は配信があるとの事で、とても助かります。早速伝えました！

- ・部会の運営お疲れ様です。よい研修の企画をありがとうございます。
- ・オンラインでのセミナーは参加しやすく業務上大変ありがたいです。

5. 質問と回答

1. 急な体重増加がみられて、全身状態を確認したら浮腫が増大していた利用者なんですが、栄養面からなにかアプローチや提案すべきことはありますでしょうか。

採血して評価する必要がありますでしょうか。

(経口摂取で食事は問題なく召し上がれている方)

まずは、浮腫の原因を調べて下さい。心臓、腎臓の機能、あとはリンパ浮腫の疑いはないか。採血ではCRPの上昇が無いかをみてください。あれば血管透過性が亢進しているので、炎症の制御が最優先です。

そして、栄養面では塩分の摂取量を詳しく調査です。ほとんどの浮腫の原因は水よりも塩分のとりすぎです。

2. 浮腫の方の脱水の見分け方(すぐにわかる)や、経口補水液での対処は可能なのか知りたいです。

浮腫の方の脱水の見分け方も基本的に同じで、毛細血管再充満時間とツルゴールです。

ツルゴールは浮腫のないところ、胸骨前面などがお勧めです。

浮腫の原因が炎症(CRP 上昇)だと経口補水液を飲んでも血管外に塩分が逃げて浮腫は増悪します。

炎症がなければ、浮腫がある脱水症に対しても経口補水液は有効です。

3. 医師から栄養士へ向けて公演頂く機会は少ないので大変貴重な機会でした。

経管栄養の方の体重が必要栄養量未満でも増加傾向にある場合の対処方法に悩みます。

計算上と、実際の身体で起きていることは当然、乖離があります。

大切なことは、必要量未満での栄養状態をアセスメントすることです。

その結果、体重が増えているなら、もっと減らしても良いのです。

オーダーメイドで、特に、床上安静の方などは、かなり少ない量で良いことが多いですね。